

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 155 8月号

2018年8月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館



読書と私 No.145

「私の図書館利用法」

新宮町 木村 京子

先日、あるテレビ番組で『友だち幻想』（菅野仁著、筑摩書房）が紹介されており、気になったので、さっそく図書館ホームページで検索し予約しました。

これが、私の図書館利用法です。

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/>

私は子どもを出産するまでは、図書館をあまり利用しませんでした。出産し、“読み聞かせ”の大切さを人から聞いたことが、図書館利用のキッカケとなりました。数ある本のなかから、どの本をチョイスすべきか…。司書さんに聞いて紹介してもらうことも多かったのですが、毎回聞くのも申し訳ないので、インターネットのクチコミを参考にしています。日本中！今や世界中の注目書籍から読みたい本を決め、たつの市立図書館のホームページから予約し、新宮図書館に取りに行く！というこんな便利な方法にたどり着きました。

少し前までは、子どもに聞かれて分からないことがあればキーワード検索で本を選び、届いた本を子どもに渡すことで聞かれたことへの回答をしていました。それが今では子どもが自分自身で検索して選んで予約をし、届いたら図書館で本を読んでステキな時間を過ごしています。

「親の考えだけでなく、いろいろな考え方を学んだり、手軽に分らないことを聞いたりできる（知る）場所、それが、図書館（本）」と子どもには話します。

最後になりましたが、『友だち幻想』をお薦めします。一度手にとって見てください。読みやすく、悩んでいる人、悩んでいない人どんな人でも、読むとなんとなく少し気持ちが楽になる本です。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。



図書館ホームページの予約画面



『友だち幻想』

菅野 仁 著 筑摩書房

『文豪たちの友情』 石井 千湖 著 立東舎



「文豪」と呼ばれる作家たち。彼らは一体どのような人物で、いかにして後世まで読み継がれる名作を残したのか。

本書は、明治から昭和にかけて活躍した文豪同士の友情

にまつわるエピソードを中心に、彼らの生涯や作品に迫る文学エッセイである。

唯一無二の親友であった正岡子規と夏目漱石は、共に病弱ながらも文学論を語り合い、作品を批評し、俳句を詠み、手紙を書き、一つ屋根の下で暮らしたこともあった。お互いの存在が精神的支柱であった二人は、日本と英国で遠く離れても親交を重ねた。死の直前まで連載を続けていた子規、彼の訃報を知った漱石は5句を詠んだ。「言葉でつながり、言葉で見送る」、文豪ならではのコミュニケーションを最後まで貫く美しい友情が胸を打つ。他にも、芥川龍之介

が佐藤春夫に猿又(パンツ)を貸した微笑ましい話、孫が語る谷崎潤一郎と佐藤春夫の絶縁など、印象的なエピソードが満載だ。

本書を通して、当時の文壇が狭小かつ濃密なコミュニティで、文豪たちは師弟やライバルを超えて蜜月や確執を繰り返しつつも、切磋琢磨しながら創作活動に取り組んでいたことがよくわかる。当たり前だが、文豪たちも生身の人間であり、作品は彼らが懸命に生きていた証に他ならない。人間味あふれる文豪たちの素顔を知ること、新たな視座が得られ、作品がより面白くなるはずだ。平易な文章で読みやすく、人物相関図やイラストもあり、参考文献リストも充実しているので、マンガやゲームで文豪に興味を持った若い読者にとっても日本近代文学入門に最適な1冊だろう。

(揖保川図書館 楠田)

トピックス

イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで

新宮図書館

おはなしのじかんのあとは
びっくりばこをつくろう！

おはなしを聞いた後に、
びっくりばこをつくります。

【日時】 8月18日(土) 10時15分～11時45分

【場所】 新宮図書館

【対象】 5歳以上(小学1年生以下は保護者同伴)

【定員】 20名(先着順)

【持ち物】 レジぶくろ(小)1枚、はさみ
ストロー(ジャバラのあるもの)1本
牛乳パック1本、えんぴつ、おりがみ
油性マジック(黒)

【申込】 新宮図書館(電話可)



御津図書館

作って遊べるおもちゃをつくろう！

紙コップで、ジャンピング人形をつくります。

【日時】 8月19日(日) 14時～15時30分

【場所】 御津図書館 2階多目的室

【対象】 5歳以上(小学生未満は保護者同伴)

【定員】 20名(先着順)

【持ち物】 はさみ、のり、カラーペン

【申込】 御津図書館(電話可)



揖保川図書館

写真展 「フクシマの7年間 一尊蔵の記録と記憶」

東日本大震災以降の福島の写真を約40枚展示します。

【期間】 8月22日(水)～8月30日(木)

【場所】 揖保川図書館フロア

【写真】 豊田 直巳 氏(フォトジャーナリスト)



『アンガスとねこ』 マージョリー・フラック 作 瀬田 貞二 訳 福音館書店



スコッチテリアの子犬アンガスは、大人になるにつれて、色々なことを覚えていき

ました。でも、まだよく知らないものがありました。それはねこでした。そんなある日のこと、アンガスの家のソファの上に、知らないねこが寝ているではありませんか。アンガスがねこに近づくと、ねこはアンガスの耳をひっかきました。アンガスがほえると、ねこはアンガスの背では届かないところに飛び移ってしまいました。ねこはアンガスのお昼の食事を食べようとしたり、お昼寝の時にアンガスのいつものひなたに座り込んだり、アンガスの思い通りになりません。それからまる3日間ア

ンガスは、ねこを追いかけて過ぎました。ところが次の日アンガスが追いかけると、ねこはどこかへ消えてしまったのです。ソファの上にも、暖炉棚の上にもねこはいません。アンガスは独りぼっちですることがなくなり、ねこをなくしてがっかりしました。でも、やがてお昼になるとアンガスには、「グールールールール」という声が聞こえ、ねこが戻ってきたことがわかりました。

子どもたちは、好奇心旺盛なアンガスの姿に自分を重ね、アンガスとねこが、心を通わせていく様子をうれしく感じます。

温かみのある色彩で描かれた絵が、アンガスやねこの動きを生き生きと伝えています。読んであげるなら4歳くらいから。

(御津図書館 河部)

『りすのパナシ』 リダ・フォシェ 文 いしい ももこ 訳 童話館出版



ある森に、りすのパナシがお父さん、お母さんと3匹の兄弟と一緒にすんでいました。

りすたちはまず、いつもしっぽをふわっと膨らませて羽のよう

にしておかなければならないことを習います。しっぽを膨らませて地面に降りるからです。高い木から飛び降りることができるようになると、枝から枝に飛び回ってモミの実をかじることも覚えます。このりすの家族がすんでいるモミの木には、小さな虫たちもすんでいて、小鳥や蝶など色々なお客がやってくるので、まるでにぎやかな町のように、幸せに暮らしていました。

ところがある日、パナシは森の番人の親

子に鉄砲で撃たれて捕まってしまいます。森の番人の息子ジャンは、パナシをかわいがってくれ、パナシもジャンのことが好きになりはじめていました。しかし、生まれ育ったモミの木のことが忘れられなかったパナシは、ジャンが檻の戸を閉め忘れた隙に逃げ出しました。庭に下り壁を飛び越えて、ようやく森まで帰ってきました。ちょうど冬支度をしていたパナシの家族は、赤い毛なみのりすが立っているのに気がつきました。パナシでした。みんな、パナシに会うことができ嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

りすの成長を通して、森でのりすたちの生活の様子が詳しく描かれています。小学1年生くらいから。

(龍野図書館 三葉)



8月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者
13日(月)・19日(日)・27日(月) 11時～11時20分
『はなびドーン』他

揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者
4日(土)・11日(土)・18日(土) 10時30分～10時50分
『ひまわり』他



御津図書館
【対象】1～4歳児、保護者
12日(日)・19日(日)
11時～11時20分
『たまごのあかちゃん』他
【対象】5歳児～
12日(日)・19日(日)
11時30分～11時50分
『だるまちゃんとかみなりちゃん』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館
4日(土)・18日(土)・25日(土)
10時15分～10時45分
「いたずらおばけ」他

※18日は引き続きイベント有り(要申込)。詳細はP2をご覧ください。

揖保川図書館
4日(土)・11日(土)・18日(土)
11時～11時30分
『はちうえはほくにまかせて』他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

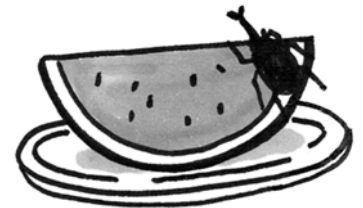
龍野図書館
10日(金)
10時～11時30分
『富士日記』
武田 百合子 著

揖保川図書館
3日(金)
10時～12時
「オツベルと象」
宮沢 賢治 著

御津図書館
8日(水)
13時30分～15時30分
『奇跡の人』
原田 マハ 著

新宮図書館

日本や海外のカブトムシ・クワガタムシを飼育しています。
オオクワガタから世界最大のカブトムシまで見ていただけます。



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

《児童展示》

夏休みの宿題 を応援します！

長一いお休みに自分だけの大作を作っちゃおう！
自由研究、工作、おりがみの本や、ポスター、習字などに役立つ本をたくさん揃えています。

【期間】8月30日まで

新宮図書館

夏の、文庫・新書フェア

タイトルは知っているけれど読んだことがない名作文庫にどっぷり浸るか、今を生きる私たちの道標として、新書に触れるか。

あなたはどっち？

【期間】8月30日まで

揖保川図書館

30にまつわる本

平成も30年を迎え、一時代の終焉が近づきました。30分でできるフレンチレシピや難民をたすける30の方法など30にちなんだ本を集めました。

《児童展示》

さかなす～いすい

海や川で涼しげに泳ぐ魚たちの本や『スイミー』や『かしこいちいさなさかな』など魚の出る本を集めました。

【期間】8月30日まで

御津図書館

夜空を見上げて

図書館で開催するプラネタリウム講座に合わせて、天体観測、星座にまつわる伝説、宇宙の写真集など天体に関するさまざまな本を集めています。

天体写真のパネル展併設

【期間】8月29日まで